

## 【 第24回 世界学生選手権 】

2018年7月30日～5日

開催国： クロアチア ・ 都市： リエカ

# 試合結果報告 8 月 5 日 ( 日 )

JPN(日本)	VS	POR(ポルトガル)
<b>20</b>	前半	<b>12</b>
<b>9</b>	後半	<b>12</b>
	第一延長	
	第二延長	
<b>29</b>	合計	<b>24</b>

### 個人得点

No.	名 前	前半	後半	合 計
1	中村 匠	-	-	-
2	田中 圭	0	0	0
3	田中 大介	0	1	1
4	水町 孝太郎	1	1	2
5	瀧澤 尚也	0	0	0
6	山口 勇樹	0	1	1
7	牧野 イサム	2	2	4
9	庄子 直志	0	0	0
10	川島 悠太郎	3	2	5
11	堀 広輝	5	0	5
12	岡本 大亮	-	-	-
13	小澤 基	1	1	2
14	後藤 悟	7	1	8
15	北詰 明未	1	0	1
	<b>合計</b>	<b>20</b>	<b>9</b>	<b>29</b>

### 戦評

世界学生選手権最終戦、銅メダルをかけた戦いはポルトガルとの一戦。日本の攻撃から始まり、早いボール回しからサイドへ展開、シュートを放つも相手GKに阻止される。対するポルトガルは個の1対1を中心にDFの間を攻め、低くなったDFの上からリベロが豪快にロングを放ち先制する。日本も後藤、牧野の得点で応戦し、拮抗した立ち上がりとなる。その後、点の取り合いとなるが、ポルトガルが連戦の疲れからかDF面、OF面においてミスが出始める。日本は集中力を切らし始めたポルトガルを尻目に、確実に得点を重ねて前半を20-12で折り返す。

後半に入っても牧野を中心にゲームコントロールするが、ポルトガルも意地を見せ、徐々に差を縮めていく。後半15分には最大8点差あったスコアも4点差まで迫られる。ここで日本はチームタイムアウトを要求してリズムを変え、川島、牧野の得点で冷静さを取り戻す。試合終了まで残り10分を切ってから4連取される場面があったものの、最終的には29-24で勝利し、見事に銅メダルを獲得した。

今大会6連戦という非常にタフな試合の中、最後まで全力で戦い抜いた選手を誇りに思う。終わりは始まり。この結果に満足せず、また新たな目標に向かって戦っていく。

報告記入者：

豊田 賢治